

高品質の幹細胞治療 新 CPC を活用した再生医療

<治療体制強化のお知らせ>



北青山 D.CLINIC の
CPC 詳細



脳神経外科専門医 泉雅文医師による
C アームを用いた症状部位への精密投与



清浄度クラス 10,000、安全キャビネット、
CO₂ インキュベーター、遠心分離機、位相
差顕微鏡、環境モニタリングシステムなど、
先端的な設備を備えた当院の CPC

再生医療をご希望の皆さまへ

— 新たな CPC（細胞培養加工施設）増設により、
細胞培養の生産性および品質がさらに向上しました —

北青山 D.CLINIC では、2019 年 3 月より
自家脂肪由来間葉系幹細胞を用いた再生医療を提供し、
これまでに **2,000 件を超える投与実績**を重ねてまいりました。
多くの患者さんに継続的な治療をお受けいただいておりますが、
近年は治療希望者の増加により、
脂肪採取や投与までお待ちいただく期間が発生しておりました。

そのため、このたび **2025 年 9 月に**

**新たな CPC（細胞培養加工施設）を増設し、
細胞培養の生産効率と作業品質を高めることで、
治療提供体制を一層強化いたしました。**

これにより、カウンセリング・脂肪採取・投与に至るまで、
より高品質で安定した再生医療のご提供が可能となりました。

再生医療をこれから始めたい方も、治療を継続されている方も、
より安心して治療をお受けいただけます。
ぜひお気軽にスタッフまでお声かけください。

北青山 D.CLINIC の 再生医療 来歴

2025 年 9 月
新 CPC 増設

2022 年 6 月
加齢・脱毛症・糖尿病・不妊
症・動脈瘤・炎症性腸疾患
への適応追加

2022 年 3 月
スポーツ外傷・肝硬変
への適応追加

2020 年 3 月
神経変性疾患・心不全・慢性
腎臓病・慢性肺疾患
への適応追加

2019 年 3 月
厚生省認可により
当院での再生医療開始
当初より CPC を院内に併設
慢性疼痛・動脈硬化・
認知機能障害への適応を取得

治療実績 投与総数 2,003件

経血管（静脈・動脈）投与、局所投与（関節内投与含む）
髄腔内投与の合計数 ※うち髄腔内投与数 293件
（2019年3月～2025年8月30日）

治療成果 裏面に詳細を紹介しています

- 疼痛の程度を複数の観点で評価したところ、
統計上全ての観点で治療後に改善が見られています。
- 簡易の認知機能チェックシートの結果では
認知機能低下スコアが改善しています。
- 動脈硬化の指標となる頸動脈の
内膜中膜肥厚度が改善しています。
- 加齢による活性酸素ダメージの指標
（血液中のdROM値）が改善しています。

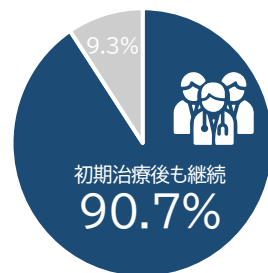
治療継続動向

初期治療後、希望される方は、凍結細胞を用いて継続
治療も可能です。実際に適応疾患別のデータでは
「慢性疼痛」90.7%「動脈硬化」88.9%「認知機能障
害」80%の方が初期治療後も継続治療されています。

有害事象

再生医療において有害事象が発生した場合、厚生労働大臣に
報告する義務があります（再生医療等安全性確保法第10
条）。北青山 D.CLINIC では、治療開始以来、補償対象となっ
た重篤な事例はありません。

髄腔内投与後腰痛ないしは下肢痛（一過性） 6例（2%）
髄腔内投与後くも膜嚢胞発生 1例（0.3%）
経静脈投与後発熱（一過性） 1例（0.05%）
補償対象となった重篤な事例 0例



ご質問・ご予約枠のお問い合わせは

03-5411-3555

（9：30～18：00 受付）
休診：日祝年末年始

メールでのお申込み・ご質問は
折り返しご連絡をさせていただきます。

公式 WEB サイト
ご予約申込ページ

<https://www.dsurgery.com/>

ご予約・お問合せ

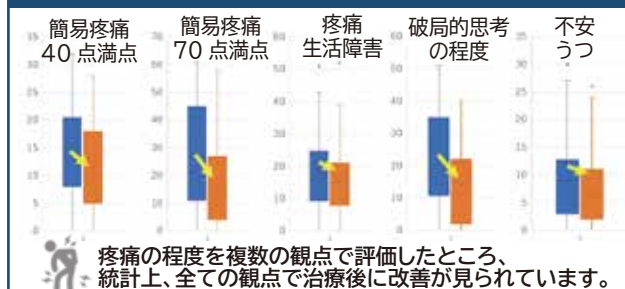




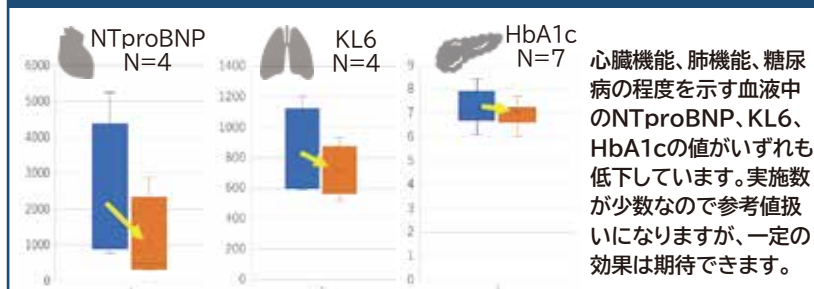
治療成果

■治療前 ■治療後

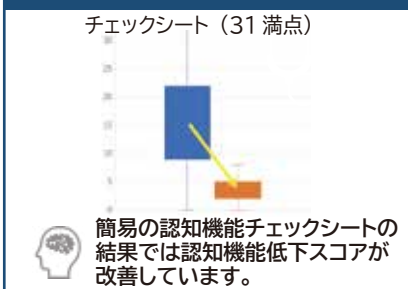
慢性疼痛 N=49



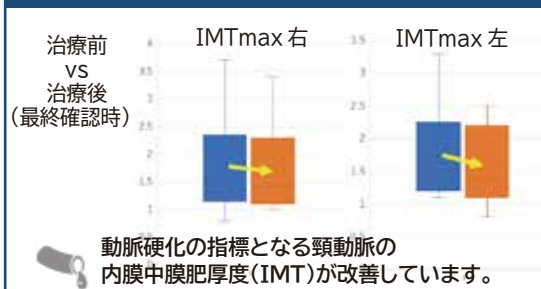
心不全 慢性肺疾患 糖尿病



認知機能障害 N=15



動脈硬化症 N=25



加齢による機能低下 N=25



具体的な症例

阿保義久医師も自身の慢性疼痛(変形性膝関節症)に対して自家脂肪由来間葉系幹細胞治療を行い、症例として公開しています。



認知機能障害
(レビー-小体型認知症)
60代男性



動脈硬化
(肘の慢性疼痛もあり)
80代女性



慢性疼痛
(両膝関節痛)
70代女性



加齢による身体機能・パフォーマンス低下
慢性疼痛、認知機能障害
50代男性



慢性疼痛
(変形性膝関節症)
50代男性



変形性膝関節症に対する再生医療



動画解説

YouTube公式チャンネルでは再生医療の治療解説・症例・選択のポイントなど医療現場からの情報発信を行っています。



再生医療(間葉系幹細胞治療)を俯瞰していただけるように1本の動画で本治療の全体像を解説しています。



治療成果や投与回数及び投与細胞数の実例を慢性疼痛、認知機能障害、動脈硬化について紹介しています。



再生医療(間葉系幹細胞治療)の効果を最大限に発揮するポイントを、医師の専門性、細胞の量や質、培養法、投与方法などの視点から考察。



治療を行う中で超低温による細胞の冷凍保管を行う意義、その効果について解説しています。



「PRPと幹細胞治療の違いは」「細胞投与数が多いほど良いのか」など再生医療に関する皆様方からのご質問に回答しています。

New Release



慢性疼痛、とくに腰痛に対する再生医療の可能性を紹介。椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症など、従来治療で改善が難しい痛み悩む方向に向けた実践的な内容です。

慢性腰痛 Cアームによる再生医療

＜腰痛に対する再生医療のアプローチ＞

長引く疼痛にお悩みの皆さまへ

— 再生医療（幹細胞治療）による新しい選択肢 —



Cアームを用い、手術中X線透視下でリアルタイムに患部の位置を確認しながら、透視下での精度を重視した投与を行います。

北青山 D.CLINIC では、

膝・股関節・肘・肩などの関節痛、
椎間板症・脊柱管狭窄症・変形性脊椎症といった脊椎由来の痛み、
带状疱疹後の神経痛、線維筋痛症、外傷後の慢性疼痛などに対して、
再生医療（幹細胞治療）を行っています。



脳神経外科専門医・泉雅文医師が

椎間板ヘルニアレーザー治療（PLDD）の豊富な経験
（2008年導入以来、2025年10月時点で1,836件）を活かし、
Cアーム（X線透視）を用いた
椎間板内・周囲への正確な投与を実施します。

再生医療（幹細胞治療）は、炎症・神経炎症の抑制、
痛覚伝達物質の制御、組織修復促進などを通じて、
運動療法や鍼灸で改善しないケース、
また PLDD などの治療適応外の方にも、
“痛みの根にある炎症・変性”へ直接アプローチし、
慢性疼痛の改善を目指します。

経過と効果について

一般的な経過

1～3か月で痛み軽減が始まり、
6か月～1年で最大効果

効果の持続：

- ・組織の修復が十分であれば根治も可能。
- ・病因が背景にある場合は再燃のリスクはある。
- ・MRI検査などの画像検査で軟骨の厚みや神経周囲の炎症改善が確認できる場合もある。

New Release



慢性疼痛、とくに腰痛に対する再生医療の可能性を紹介。椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症など、従来治療で改善が難しい痛み悩む方に向けた実践的な内容です。

慢性疼痛に対する再生医療の症例 ※ADMSC = 脂肪由来間葉系幹細胞

症例

75歳女性
両膝関節痛

主訴： 階段昇降困難

数年前から 上記主訴について他院に通院して加療するも症状増悪。

8月 ADMSC 投与（経静脈 + 局所： 1.29×10^8 個）
10月 疼痛は50%ほど軽減。階段昇降もどうにか可能。
ADMSC 投与（経静脈 + 局所： 1.52×10^8 個）
11月 疼痛は80%ほど軽減。階段昇降ストレスなく可能。



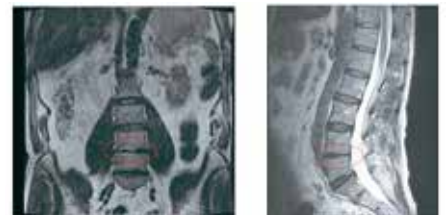
症例

58歳男性
椎間板症

主訴： 腰痛 就眠困難

腰椎椎間板症の診断で他院で椎間板ラジオ波焼灼術を受けた。治療前より痛みが増強し脊髄刺激療法、神経根ブロック、硬膜外ブロックなどペインクリニックで治療を受けても無効。

5月 ADMSC 投与（経静脈 + 椎間板腔投与： 0.72×10^8 個）
徐々に改善したがトレーニングで腰痛再燃
8月 ADMSC 投与（経静脈 + 椎間板腔投与： 0.88×10^8 個）
疼痛軽減傾向あり



ご予約・お問い合わせは

03-5411-3555

（9：30～18：00 受付）
休診：日祝年末年始

メールでのお申込み・ご質問は
折り返しご連絡をさせていただきます。

公式 WEB サイト
ご予約申込ページ

<https://www.dsurgery.com/>

ご予約・お問合せ



認知機能改善 自宅でできる再生医療

< 幹細胞成分（エクソソーム、サイトカイン）を点鼻で投与 >

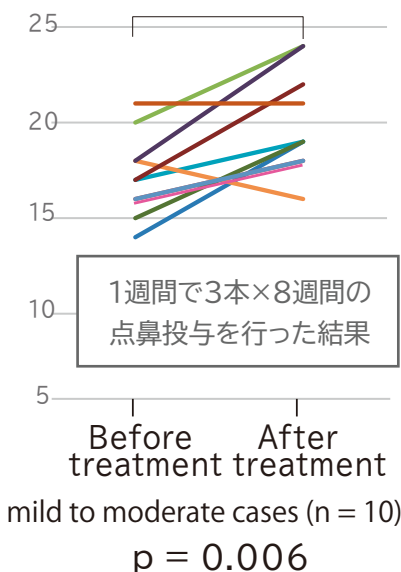
認知機能の低下が気になる皆様へ
— ヒト幹細胞培養上清液投与（点鼻）のご紹介 —

ヒト幹細胞培養上清液治療では、
点滴や局所注射による投与に加えて、
ご自身で行える**点鼻による投与法も**
選択できるようになりました。
この方法はご自宅でも実施が可能なので
日常的に時間の制限なく
再生医療を享受できる点で画期的といえます。

アルツハイマー型認知症患者 18 名を対象とした
臨床研究で点鼻による培養上清液投与で
認知機能スコアの改善が報告されています。
(出典:「Glycative Stress Research」WEB JOURNAL 2024 年)

ヒト幹細胞上清液（脂肪由来）の 点滴 と 点鼻 の
組み合わせで、より高い治療効果を期待できます。

アルツハイマー型認知症への効果（点鼻）



「アルツハイマー認知症に対する間葉系幹細胞セクレトーム点鼻の安全性と臨床的效果およびその将来展望」として、治験を実施。軽度～中程度の18名の患者に認知症スケールのスコア改善がみられたという研究成果があります。

(出典:「Glycative Stress Research」WEB JOURNAL 2024 年)

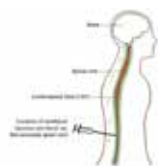
北青山D.CLINICの提供する 認知機能障害に対する治療

ご自身の幹細胞を培養増殖して投与する
再生医療の中核となる治療法です。
幹細胞の分化、抗炎症作用、免疫調整効果
などにより組織の再生修復が期待できます。

再生医療

(自家脂肪由来間葉系幹細胞治療)

当院では病態に即した投与方法として髄腔
内投与も行っています。脳脊髄液を
介して、脳神経組織へ幹細胞を直接送達す



ることにより神経変性
疾患への治療効果を高
める送達法として強く
期待される方法です。

健康な 20 代の日本人の幹細胞培養液から抽出されるエクソソームやサイトカインなどの
再生修復因子を用いた治療です。
細胞フリーなので治療待機時間がなく、免疫応答リスクはゼロといえます。
幹細胞治療の補完や代替治療として有用です。

ヒト幹細胞培養上清液(脂肪由来) 投与<点滴>

臓器修復・血管・組織の再生、脳神経の修
復・活性化、肌・毛髪質の向上など
全般に複合的な効果を期待できます。



1V ￥55,000
3V ￥165,000
5V ￥275,000

ヒト幹細胞培養上清液(脂肪由来) 投与 <点鼻>

ご自身で実施できます。
(1日 1～3回 1回4プッシュが目安)



1本 40プッシュ
￥49,500
4本
￥188,100

※価格は全て税込です。

ご予約・お問合せ

ご予約・お問い合わせは



03-5411-3555

(9:30～18:00 受付)
休診：日祝年末年始



メールでのお申込み・ご質問は
折り返しご連絡をさせていただきます。

公式 WEB サイト
ご予約申込ページ

<https://www.dsurgery.com/>

